第55回洗浄に関するシンポジウム

主　催　日本油化学会　洗浄･洗剤部会
協　賛　日本家政学会、繊維学会、日本繊維製品消費科学会、色材協会

日　時　2023 年 10 月 10 日（火）～ 11 日（水）
会　場　タワーホール船堀　５階小ホール〔〒134-0091　東京都江戸川区船堀 4-1-1〕
［ 交通 ］ 都営地下鉄新宿線｢船堀｣駅前　徒歩 1 分　（https://www.towerhall.jp/access/）

プログラム概要
特集「機能性素材が導くサステナブルな社会」、一般講演、及びオリジナルレポート

参 加 費　（消費税を含む）

	事前振込	当　日
洗浄・洗剤部会員	9,000 円	10,000 円
本会*1 正会員	10,000 円	11,000 円
本会*1 法人会員	12,000 円	13,000 円
協賛学会員	12,000 円	14,000 円
Co-メンバー*2	12,000 円	13,000 円
会員外	15,000 円	18,000 円
学生	5,000 円	6,000 円

*1 日本油化学会　*2 Co-メンバー登録費用（1,000 円）を含む

「Ｃｏ-メンバー」のご案内
洗浄･洗剤部会では学会活動活性化の一環として「Co-メンバー」制を導入しています。シンポジウムお申込の際に「Co-メンバー」を選択頂くだけで登録が完了します。
また、Co-メンバーは本シンポジウムや当部会開催セミナー参加費の割引が適用されます。ぜひこの機会に入会をご検討ください。
なお、Co-メンバー資格は次回シンポジウムまでの 1 年間となります。自動的に翌年度の資格が更新されることはございませんので、資格の継続をご希望される場合、次回のシンポジウム申込時に、改めてお申込みください。

懇 親 会　2023 年 10 月 10 日（火）18 時 30 分より　タワーホール船堀　2 階イベントホール「瑞雲」
会費：　一般 5,000 円、　学生 1,000 円

申込〆切　2023 年 9 月 29 日（金）

申込方法　下記ホームページの申し込みフォームへアクセスいただき、お申し込み手続きをお願い致します。

★★★ホームページアドレス（https://jocs.jp/oil-multi/cleaningdetergent/）★★★

＊上記申し込みフォームでの申し込みが難しい場合には、下記問合せ先までご連絡ください。

振込〆切　2023 年 9 月 29 日（金）

振込方法　参加費・懇親会費は申込み締切日までに【入金の確認が行えるよう】に銀行振込にて前納して下さい。

当方にて振込が確認できなかった場合、振込用紙を提示していただく場合がございます。
なお納入された参加費は返金いたしかねますので、予めご了承下さい。

銀行振込：　**三井住友銀行　日本橋東支店　普通預金口座　7697594**
口座名義　**日本油化学会 洗浄洗剤部会　（ﾆﾎﾝﾕｶｶﾞｸｶｲ ｾﾝｼﾞｮｳｾﾝｻﾞｲﾌﾞｶｲ）**
*カタカナでの振込先入力が必要な際にはご注意ください。

問合せ先　日本油化学会　洗浄・洗剤部会　事務局
ライオン（株）ファブリックケア研究所　天谷 友彦（あまたに ともひこ）
〒132-0035　東京都江戸川区平井 7-2-1　E-mail: senjou-senzai@jocs.jp
TEL 03-3616-3390　FAX 03-3616-3542

【プログラム】

■10 月 10 日（火）

10:00～10:35　開会の辞／最近の洗浄研究･洗剤技術の動向

洗浄･洗剤部会長（横浜国立大）大矢 勝 氏

＜オリジナルレポート①＞

10:35～10:55　XRF を用いた生活環境中の汚れの分析

（HITOWA ライフパートナー[*1]、横浜国立大[*2]）○村上佳奈子[*1]、尾崎真[*1]、小林剛[*2]、大矢勝[*2]

10:55～11:15　変質タンパク質汚れに対する酵素効果の確率密度分布法による解析

（ライオン[*1]、横浜国立大[*2]）○井上明典[*1,2]、大矢勝[*2]、亀屋隆志[*2]

11:15～11:35　最新の酵素工学によるサステイナブルな洗濯洗剤の実現

（ダニスコジャパン）樫村猛伯

－昼食休憩　11:35～13:00（1 時間 25 分）－

＜特集　機能性素材が導くサステナブルな社会＞

13:00～14:00　サステナブル課題と技術、製品、ソリューション

（クラリアントジャパン）榎本 浩二 氏

気候変動、温室効果ガス、EU の化学産業におけるサステナブル戦略、PMT（難分解性、移動性、有害性特性）、サステナブル調達といった課題を取り上げながら、クラリアントの洗浄分野の技術、製品、ソリューションを説明する。

14:00～15:00　バイオテクノロジーが実現するサステナブルな次世代洗浄

（ノボザイムズジャパン）金谷 麻里絵 氏

サステナビリティに対する消費者意識が高まり、洗浄分野でもそれを志向した製品の開発・販売が拡大している。本講演ではバイオテクノロジーを活用したサステナブルな洗浄製品の開発について海外の事例と併せて紹介する。

－休憩　15:00～15:15（15 分）－

15:15～16:15　Dow の持続可能性へのコミットメント

（ダウ日本グループ）Shuvendu Biswas 氏

Dow は地球資源の更なる有効活用法を生み出し、より低炭素・循環型社会を実現しながら、人々の生活をより豊かにしていくことをコミットしている。Dow の定量的なゴールとその達成に向けた各方面の具体的な取り組みを紹介する。

－休憩　16:15～16:30（15 分）－

＜ポスター発表＞

16:30～18:30　自由討論

1. 液体洗剤における酵素安定化剤の影響およびその対処法について

（ダニスコジャパン）○中村亜紀子、樫村猛伯

2. 人工皮膚への付着汚れを対象とした流水洗浄におけるマイクロバブル分散液の効果

（新潟大）○横山悠河、牛田晃臣

3. 汚染布を対象とした超音波洗浄におけるウルトラファインバブル混合の効果

：紫外線照射との組み合わせの検討

（新潟大[*1]、岩手大[*2]）○小新克己[*1]、天木桂子[*2]、牛田晃臣[*1]

4. 食洗器用多機能添加剤の効果検証

（クラリアントジャパン）○工藤駿、飯間雄介、榎本浩二、堀内武士

5. サステナビリティに向けたダウグループの新規開発品の紹介

（ダウ日本グループ）Shuvendu Biswas

6. オゾンウルトラファインバブル混合液による有機物分解

（新潟大[*1]、新潟食料農業大[*2]、エンバイロ・ソリューション[*3]）

○杉澤亮平[*1]、中井裕[*2]、牛頭貴大[*3]、古田浩章[*3]、牛田晃臣[*1]

7. マイクロプラスチックファイバーの排出に及ぼす洗剤の影響

（共立女子大）○秋田陽子、後藤純子

8. メッシュ間隔を通過する流れにみる UFB 水およびマイクロバブル水の流動挙動

（岩手大[*1]、新潟大[*2]）○天木桂子[*1]、牛田晃臣[*2]、長谷川富市[*2]

9. 機械学習を用いた洗濯用洗剤の洗浄力予測システムの検討

（産総研）金崎悠

10. 環境に優しく、安全なアニオン性界面活性剤 SAS (アルカンスルホン酸ナトリウム)

（アゼリスジャパン）流石健作

＜懇親会＞

18:30～　　タワーホール船堀　2 階イベントホール「瑞雲」

■10 月 11 日（水）

＜一般講演＞

10:00～10:30　第 12 回 World Surfactant Congress CESIO2023 参加報告

（和洋女子大）桑原 里実 氏

第 12 回世界界面活性剤会議がローマにおいて開催された。企業、大学、欧州委員会をはじめ公共機関からの参加者があり、口頭発表約 60 件、ポスター30 件の発表があった。また全体会議では 11 件の招待講演があった。その参加報告を紹介する。

10:30～12:00　洗浄力評価法の開発・洗浄理論研究と洗剤の環境影響評価に取り組んで

（横浜国立大）大矢 勝 氏

過去の研究を総括する。洗浄関連では各種の単独汚れ試料の作成法と特徴、新たな洗浄速度論の提案等を解説する。環境関連では界面活性剤の水生生物毒性を界面化学的に整理し情報混乱の抑制に寄与した経緯を説明する。

－昼食休憩　12:00～13:05（1 時間 5 分）－

13:05～13:30　JIS K 3362 家庭用合成洗剤試験方法の改正ポイントと今後について

（日本石鹸製剤工業会）兵藤 亮 氏

洗濯用の液体標準洗剤の追加、再汚染防止力試験法の設定を行う JIS K 3362 の改正ポイントについて、昨今の洗濯環境・洗剤市場変化など本改正に至った背景と併せ紹介する。

＜オリジナルレポート②＞

13:30～13:50　液体洗剤と粉末洗剤の性能の差を考慮した JIS 標準液体指標洗剤組成の最適化

（横浜国立大[*1]、共立女子大[*2]、和洋女子大[*3]、日本石鹸洗剤工業会[*4]）

〇大矢勝[*1]、後藤純子[*2]、桑原里実[*3]、宮前喜隆[*4]、山田勲[*4]、野村昌史[*4]、兵藤亮[*4]、小出操[*4]

13:50～14:10　再汚染評価法を確立するための基礎的研究 －ターゴトメーターを用いた再汚染の検討－

（共立女子大[*1]、和洋女子大[*2]、横浜国立大[*3]、日本石鹸洗剤工業会[*4]）

〇後藤純子[*1]、近澤楓[*1]、宮崎香帆[*1]、小山夏実[*1]、桑原里実[*2]、大矢勝[*3]、宮前喜隆[*4]、山田勲[*4]、野村昌史[*4]、兵藤亮[*4]、小出操[*4]

14:10～14:30　家庭洗濯における衣類の黒ずみ実態およびモデル再汚染布を用いた評価基準の検討

（和洋女子大[*1]、共立女子大[*2]、横浜国立大[*3]、日本石鹸洗剤工業会[*4]）

〇桑原里実[*1]、岡崎采実[*1]、小松さくら[*1]、後藤純子[*2]、大矢勝[*3]、宮前喜隆[*4]、山田勲[*4]、野村昌史[*4]、兵藤亮[*4]、小出操[*4]

－休憩　14:30～14:50（20 分）－

14:50～15:10　洗濯時における衣類の色褪せ抑制効果の検証

（ライオン）〇森田遥、長谷部巴優、土居青太、大塚聡、金田英之、小倉英史

15:10～15:30　硬質表面に洗浄と同時に耐水性の防汚・抗菌・防カビ機能を付与する洗浄組成物の開発

（山崎産業）垣内秀介、中野実、隈下勝弘

15:30～15:50　食洗器用多機能添加剤の効果検証

（クラリアントジャパン）〇工藤駿、飯間雄介、榎本浩二、堀内武士

15:50～16:10　食器洗い後、乾燥までの水が及ぼす清潔・衛生上の課題と解決策について
－速乾機能とキレート効果の活用－

（ライオン）〇神村絵美、渡邊洋介、神藤宏明、長谷川貴道

16:10～16:15　閉会の辞

洗浄･洗剤部会 副部会長（和洋女子大）桑原 里実 氏

以上